

巻頭言

北海道教育大学附属函館中学校長 羽根田秀実

皆様には、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育、研究活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校においてはこれまで、平成20年度より22年度までの3年間、「新学習指導要領の趣旨を実現する教育の展開」という主題で、研究を行いました。また、平成23・24年度の2年間、国立教育政策研究所の研究指定を受け、学習評価に関する研究・実践に取り組みました。これらの本校の研究・実践に対し、これまで様々な時と場において皆様からいただいたご指導・ご助言に対し深く感謝申し上げます。

今年度は、これまでの研究成果をふまえながら、新たな研究主題を掲げ、研究・実践を進めてまいりました。今年度は、研究主題を「今、求められる21世紀型の学力の育成を目指して」、研究副主題を「知識・技能を活用する力を育む学習指導の工夫・改善」といたしました。

公開授業や分科会においては、これまでの取り組みの成果を皆様にご報告し、共有することができればと考えております。同時にまた、この機会に、多くの方々から、私たちの取り組みに対する忌憚のないご意見やご批評をいただくことができれば幸いに存じます。皆様からいただいたご意見・ご批評をもとに、さらに私たちの研究・実践を、深化・発展させていくことができるよう努めてまいりたいと考えております。

毎年素晴らしい講師の先生をお迎えして開催している全体講演会ですが、今年度は、東京大学大学総合教育センター教授（大学発教育支援コンソーシアム推進機構副機構長）の三宅なほみ先生をお招きし、ご講演をしていただくことになりました。先生は、認知科学、認知心理学のご専門で、人の理解や学習のメカニズムの解明、およびそれを支援するための方法について研究なさっています。ご講演では、これらの研究をふまえた知的刺激に満ちたお話しをしていただけたことと存じます。

最後になりましたが、教科別分科会で助言者・司会者・共同研究者として、ご指導・ご助言そして司会の労をおとりいただく諸先生に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。また、本研究大会の開催にあたりご後援を賜りました北海道教育委員会並びに函館市教育委員会に対し深く感謝申し上げます。今後とも、本校の教育研究活動にご理解とご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成25年10月